

効果のあった実践事例

学年 第3学年 教科等 算数科

単元・内容 「たし算とひき算の筆算」

検索キーワード たし算とひき算の筆算の手順

○ ねらい

- ・ 3けた+3けたのたし算の筆算ができる。

○ 手立て

視覚化（計算の手順を掲示する）

1 筆算の手順を一つずつ画用紙に書いて掲示する。

もあて

百の位にくり上がりがあるたし算の筆算のしかたを考えよう。

1 1  
398  
+ 986  
-----  
1384

まず一の位から計算します。  
 $8 + 6 = 14$

十の位に1くり上げて

次に十の位を計算します。  
 $1 + 9 + 8 = 18$

次に百の位を計算します。  
 $1 + 3 + 9 = 13$

だから答えは1384

**ポイント！**

- ・ 単元を通して、手順を掲示したり手順を表現させたりする。

まず、一の位から計算します。

$8 + 6 = 14$ です。

十の位に1くり上げて

次に、十の位を計算します。

$1 + 9 + 8 = 18$ です。

最後に、百の位を計算します。

$1 + 3 + 9 = 13$ です。

千の位に1くり上げます。

だから、答えは1384になります。



2 手順に沿って、発表しながら計算させるようにする。

3 数字を変えて、繰り上がりがある場合やない場合の問題も同様に手順を示して、発表しながら計算させるようにする。

**ポイント！**

- ・ 繰り上がりがない計算や繰り上がりがある計算でも、同じ手順で計算できることを確認する。

○ 児童の変容

- ・ たし算の筆算の手順に沿って、説明しながら正しく計算することができた。
- ・ 繰り上がりがあってもなくても、手順に沿って計算すればよいことを理解することができた。